

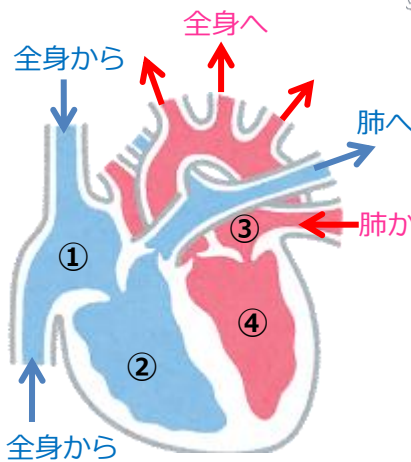


広島市食検だより

2020年 4月 第62号



牛でみられる心臓の奇形：中隔欠損



♡ 心臓は右心房（①）右心室（②）左心房（③）左心室（④）の四つの部屋からできています。

♡ 全身に酸素を供給し終えた血液は右心房へ戻ってきます。そして、右心房から右心室に入り肺へ送られます（静脈血）。肺で酸素を取り入れた血液は、左心房から左心室に入り全身に送られます（動脈血）。

♡ 通常、左心房と右心房、左心室と右心室の間は、それぞれ中隔と呼ばれる壁で仕切られており、動脈血と静脈血が交わらないようになっています。

♡ 中隔欠損とは中隔に欠損孔という穴が開いている病気です。

心房中隔欠損

右心房と左心房の間の中隔に穴が開いている病気



心室中隔欠損

右心室と左心室の間の中隔に穴が開いている病気



右の写真は、当所でと畜された牛の心臓です。

心臓の中隔に鶏卵大の穴が2か所見つかりました。

（やすりで刺してある部分）

心房中隔欠損（上）と心室中隔欠損（下）を同時に発症していました。

おなかの中は、胃腸や腹腔内脂肪に水腫（血液の循環不良などで水分

がたまった状態）がひどく、肝臓もうっ血していました。穴が小さい場合、人でも無症状で経過することもあるようですが、穴が大きいと心不全をおこすこともあります。

この牛は、ホルスタイン種で年齢の割には小柄でしたが、お産の経験のある立派なお母さん牛でした。お母さんはすごい！

